

平成 29 年度 第 3 回 学校協議会

1 開会（事務局より）

2 校長挨拶

3 学校の様子について

スライドを使い、各部の取組みを報告

4 議事（進行：井坂会長）

① 学校長より学校経営計画最終評価について説明。

- ・ SPS 認証について
- ・ 保護者アンケートの結果について
- ・ キャリア教育について
 - （1）授業アンケート
 - （2）検定試験について
 - （3）進路について
- ・ センターの機能について

<委員からの意見・質問>

- ・ キャリア教育のところで、いろいろな資格に合格しているが、何か進路につながっているのか。
→（学校長より） 推薦枠を取るまでのレベルにはいかないが、就職の際に資格を持っているとスムーズに行く。ワープロ、エクセル、簿記の三つ取れば就職に有利だが、まず取りやすいところから取り組んでいる。どの級でも全校朝礼で表彰し、達成感を味わわせたいと考えている。
→（委員より） 不合格になっても、挑戦したということが分かれば、企業としても参考になると思う。
- ・ 保護者アンケートでは、100%を目標として 70%だが、これは低いのか。
→（学校長より） 校長としては 80%ほしかったが、本校の場合、分母が少ないので上がり下がりが大きく出る。教職員が入れ替わっていく中で、手話などで教員も子どもも苦勞する。しかし、手話を知らないことは理由にならない。タブレットなどを使う方法もある。分かりやすい授業かどうかという視点で考えないといけない。そのため、やはり 80%がめやすと考えている。
- ・ 校長としては、評価トータルで見たらどう思われているか。
→（学校長より） 本校の職員はよく頑張っていると思っている。昨年までは〇でないといけなかったが、そうではなく、×でもよい、来年度もう一度チャレンジしていくことが大事。よく 1 年間やってくれたと思っている。

・キャリアのことで、検定試験を重複の子どもも受験できたことがうれしかった。「できる子はいいけど、できない子は検定試験など受けられない。」という声を聞いていたが、今年度こういう形でできて良かったと思う。高校受験は親がしっかりしないと、という考え方も様変わりしてきている。寄宿舎の太鼓も感動的だった。重複の子どもたちに対して、小さい頃から心配されていたが、あの姿を見て喜んでおられると思う。

→（学校長より）寄宿舎の太鼓は申し込んでいたが正直不安だった。半分が重複の子どもだったが、いろいろな場数を踏むといい経験になる。しかし、場数を踏むと逆に慣れが出るもで、小さな場でも手を抜かないように指導もすること大事。機会を与えていただき、うれしく思っている。

→（委員より）キャリアのことで、漢字検定で、重複の子どもに対してたとえば予備テストなどを用意し、学校が認定する独自の取り組みがあってもいいのでは。学校独自の評価の仕方、参加のしかたも考えられたらいいと思う。

・地域事業の取り組みでも、「そんなことできるか。」という声もあるが、それが勉強になる。みんながまとまる難しさもあるが、やってみること、チャレンジすること、みんなが努力すると結果がついてくる。目標を120%ぐらいにおかないと、80%ぐらいにならない。

②校則の見直しについて、教頭より説明

<委員より意見・質問>

校長より頭髪や服装について、実際のところどうなのか委員に意見を求めた

・流行とか、好き嫌いはいろいろあるが、黒、紺、無地から探すのが実際大変だが、少しは柄を認めてもらえたら求めやすい。

・マフラーやレッグウォーマーなど、無柄、単色であればいいのでは。また、「中学生らしい頭髪」という表現はあいまいすぎるかも。

・地域の学校はどのような表現にしているのか。

→（学校長より）確認しておく。

・これまでに何か問題はあったのか。

→（教頭より）染めたりしていたケースはあったが、小学部では成長期には控えるよう文面を載せている。最近では問題となるようなケースはないが、過去にはピアスなどもあった。

→（学校長より）今の生徒はおとなしいので先生の指示は聞くが、地域から生徒がもどってきて波及するといったケースも考えられる。教師の服装に関して「先生はいいのか。」と聞かれた時に、きちんと説明できるか。通学路に関しても、きちんと決めたいと考えている。子どもたちに説明できないことはしない。立て直すのに3年かかるが、崩れるのは一日で崩れるというこわさがある。守れることだけを書く。理想だけを書いても仕方がない。しぼるものでもない。

・通学服や体育館シューズは、指定のものでないといけないのか。白だったら市販のものでもいいのか。

→（教頭より）確認しておく。

・バレー部の靴は、個人で購入し、体育館シューズとして使っている。小学部は黄色の帽子の着用は考えていないのか。安全面を考慮して、登下校でかぶるようにしてはどうか。

→（委員より）先日の保護者会では、個人としてかぶるのは構わない。学校としての指定はないという説明だった。

→（教頭より）夏場はかぶるようにしているが、色の指定などはしていない。また、学部でも検討してもらおう。

・校則にルビがふってあるのは良い。内閣府のホームページにはルビ付き版というものがある。生徒本人がハンドブックを見て分かりやすい工夫がある。分かりにくい制度というものは利用していく上で差別になってくる。解消法の一つの取り組みとして、分かりやすいものにしていくことを考えてもらいたい。子どもたちが読んでわかるレベルのもの（分かりやすい版）を作ってあげること。

③学校関係者評価について、教頭より依頼

④マスコット投票について、教頭より依頼

5 その他

①平成 30 年度学校経営計画について

②校務分掌改編について

③次年度の学校運営協議会について

それぞれ、学校長より説明

6 事務局より連絡

今後の行事予定の連絡。

委員の任期満了について。次年度、教育庁から通知があり次第連絡予定。

7 閉会